

平成 25 年度入学試験問題（社会人特別入試）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻（夜間主コース）

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

社会人と大学生を比較すると、一般的に社会人の方が社会に関する知識も経験も豊富だと思われています。また、国内で社会人として英語を学ぶ方法は、大きく分けて2つあります。民間の「英語学校」で学ぶ方法と大学で英語を専攻する方法です。社会的な知識も経験も豊かなあなたが英語をなぜ大学で専攻するのかについて明確に論じなさい。さらに、あなたが大学入学後に社会人としてどのように英語を学んでいくかの計画も記しなさい。以上のことを 1,000 字以上, 1,200 字以内で書きなさい。

平成 25 年度入学試験問題（社会人特別入試）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻(夜間主コース)

出 題 の 意 図

英語文化専攻では、英語を中心とする言語、文学、文化、歴史に強い関心と学習意欲を有し、異なる文化と自己の文化に対する多面的な理解と、あらゆる物事を地球的視野で考える力の獲得へ向けて、主体的・積極的な学習のできる学生をもとめている（アドミッション・ポリシー）。その関連で、社会的知識と経験も豊かな社会人が何故民間の「英語学校」ではなく当専攻で学ぶ必要があるのかを具体的かつ説得性を持って論ずることができるかを問う。